

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行
No.

43

発行日：2016年 5月13日(金)

地域企業紹介 43

有限会社フレックス

パジャマ × インターネット 強みを生かせるニッチ市場で No1を目指す

パジャマの企画、製造、インターネットサイトを使った販売までを一貫して行う有限会社フレックスの熊坂雅之社長を相模原市緑区橋本の本社に訪ねました。熊坂社長は都内の広告代理店での勤務を経て、1988年に25歳で父親が経営するブランドパジャマの製造を請負うアサヒランジェリーに入社する。バブル崩壊以降は高級パジャマが一気に売れなくなり、売上は年々減少し最盛期の半分になり廃業も考えるような状況に。そんな状況を打開しようと、2000年にパジャマのインターネット販売の自社サイトを立ち上げる。また、子供服のリサイクル店も南大沢に出店した。そして、2002年にアサヒランジェリーを廃業、子供服のリサイクル店も閉じて、有限会社フレックスを創業し、インターネットサイトを使ったパジャマの製造小売業(SPA)に専念する。熊坂さん39歳の時だ。

実は熊坂さんは2000年12月に横浜市関内にあったクックパッドのオフィスに創業者の佐野陽光氏を訪ねている。佐野氏27歳。1998年に料理レシピの検索・投稿インターネットサイトを立ち上げていた。クックパッドはその当時からとてもよくできたサイトを作っていて、熊坂さんはインターネットサイトの制作を依頼に行っただけだった。その時に佐野さんから楽天を使った販売を勧められ、楽天店舗を2001年1月31日にオープンさせている。また、佐野さんからは「熊坂さんには熊坂さんが戦う場所があるはず、自分の土俵で勝負した方が良い」と助言されたそうだ。熊坂さんは長年培った知識やネットワークを活かせる「パジャマ」とまだまだ発展途上だった「ネット販売」の組合せなら勝負ができると直感したそうだ。自社のサイトでは全く売れなかったパジャマも楽天に出店すると1か月目は35,000円、2か月70,000円、3か月目が140,000円と倍々に増えていったそうだ。しかし、あるところで売上の伸びは止まった。

(2面につづく)

有限会社フレックス パジャマ屋
代表取締役 熊坂 雅之(くまさか まさゆき)
所在地：相模原市緑区橋本4-16-13
従業員数：18名 売上高：2億円
事業内容：パジャマの通信販売

そこからは寝食も忘れ、手当たり次第にいろいろなことをやった。プレゼントで顧客のメールアドレスを集めたり、オークションを開催したりとサイトが目立ち販わうような工夫を繰り返していった。そんな中、ネット業界で著名なコラムニストが同社のシルクパジャマを褒めてネット上で紹介してくれた。そうするとシルクパジャマはもとより、それ以外のパジャマも爆発的に売れ、売切れ続出に。楽天では「入荷と同時に売れてしまい、なかなかモノが買えない店」として有名になったという。そんなこともあり、開設15カ月で売上が月100万円を超える。そして、ネット販売を開始してから16年目の昨年、年商は2億円を超えた。

同社は商品開発に長い時間をかけている。この糸で、この編み方で、この風合でと、生地を試作から始まる。「本当に差別化できるのは生地だ」と熊坂さんは言う。それから、試作、試着、洗濯を繰り返し、納得がいくまで改善を重ねていく。商品化までは最低で2年から3年にかかるという。だから、新商品は年間5点止まり。じっくり作り込むから良いものが商品化され、ロングセラーになる。リピーターからの受注は売上の25%に達している。毎年のように数多くの新製品を送り出す大手のメーカーとは全く別の道を行く。まさに手作り、工芸品のようなモノづくりが行われている。

また、顧客との関係も大事にしている。直送のギフト注文以外は商品発送の時に必ずお礼の手紙を添えているし、顧客から寄せられるいろいろな注文や要望には素早く、徹底して対応している。インターネットサイトは最新のIT技術を駆使して自動化や省力化を目指す仕組みだが同社は意識的にリアルな顧客との関係を築こうとしている。

また、売上の4割はギフト。同社のパジャマを買ったお客さんがそのパジャマを気に入ってくれて、離れて暮らす両親や祖父母、お世話になった友人へ贈る。顧客が顧客を連れてきてくれる。売上が着実に伸びている原動力の一つにもなっている。

熊坂社長の仕事は商品の開発、アクセス数の増大、情報収集に集中する。「良い商品を創り、それを多くの顧客に見てもらえれば売上はついてくる」というシンプルだが普遍的な考えを追及しているということだ。

相模原の地で16年間、インターネットサイトを使った製造小売業として、もがき、こだわり、そして楽しみ、成功した熊坂さんと有限会社フレックスのスタッフの皆様に敬意を表したい。

大切なのは、顧客の思いを受け止めること

ARM Technologies株式会社

次世代蓄電デバイスの自主研究を進めながらリチウムイオン電池関連のコンサルティングや受託研究を行っているARM Technologies株式会社をご紹介します。

代表取締役の荒木紀歳社長は、山形大学大学院理工学研究部物質工学専攻を修了後、ソニー株式会社に入社し、マテリアル研究所で小型ロボット用の人工筋肉やリチウムイオン電池関連の研究開発に携わっていました。その後、受託研究機関の株式会社KRI（本社：京都市）で研究員としての活動を経て、平成26年にARM Technologies株式会社を設立。ソニーで研究開発に携わっている時から「自分のやっている研究が世の中と繋がっていることを感じられる仕事がしたい。そして、失敗してもやり直しがきく今こそ自分の可能性を確かめてみたい。」という思いがあったそうです。

荒木社長は、顧客がいる現場で顧客の思いを受け止めた上で研究を進めていく

ことが重要だと考え、その後の起業を見据えながら、リチウムイオン電池関連の研究の他、様々な受託研究案件に携わってきました。

自主研究中の次世代蓄電デバイスは、高エネルギー密度を達成しうる新規な“レドックス・フロー電池”を用いたもので、将来的なエネルギー革命をも引き起こすことになるのではという熱い思いを抱き研究を進めています。

一方、コンサルティングや受託研究活動は大学などの研究機関や民間企業（材料、電池、自動車等のメーカーなど）からの依頼を受けて、関西方面への出張も多いそうです。

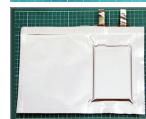
今後、トップクラスの研究員を迎え入れられるようにARM Technologiesを成長させて、次世代蓄電デバイスの開発を加速させ、各方面に期待され信頼を得られるような研究成果を着実に重ねていきたいと、荒木社長は話します。



荒木社長



単極評価用二極セル



評価用ラミネートセル

ARM Technologies株式会社
代表取締役 荒木紀歳（あらか のりとし）
SIC-1 213号室
e-mail:noritoshi.araki@arm-tech.jp

美術デザイン系大学が集積する相模原市・橋本の特徴を生かし、クリエイティブのちからで地域を盛り上げようと、相模原周辺エリアで活動する多摩美術大学卒業生が中心となって、昨年、「橋本デザイン会議」が発足しました。「橋本デザイン会議」は、さがみはらエリアの企業と発表の場を求めているクリエイターとの出会いの場を設け、地域のビジネスを活性化させる有効な切り札としてク

リエイティブの力を紹介する活動を目指しています。今回、企業の特徴や悩みから、「デザイン」で解決するテーマを設定し、学生クリエイターから多様なアイデアを募りました。募ったのは「さがみはらエリア」の5つの企業。事業の発展を目指して託したテーマをご紹介します。第一回は当社、さがみはら産業創造センターです。

テーマ



テーマ「SICコーポレートフォント」

タイトルロゴとして使用できる汎用性のある書体

SICでは人と人、企業と企業のつながりが生まれることを期待し、社内外報として「SICかわらばん」を発行しています。SICの入居企業、地域企業の「人となり、事業の内容」などを紹介するコミュニケーションツールです。このかわらばんの、タイトルロゴに使用する書体を募集しました。



企業紹介・テーマ募集動画
(募集は締め切りました)

制作者：青野 優 (多摩美術大学 (2016卒))

「企業が密集した様子からイメージした、仕切りのあるフォント」

SIC KAWARABAN

学生クリエイターからのコメント(制作意図)

多数の企業が入居している株式会社さがみはら産業創造センターから着想を得て、色面分割を感じるフォントの提案。複数のバリエーションも用意し、用途に合わせた使用も可能にしています。



学生プレゼンテーション動画

SIC KAWARABAN 2016
SIC KAWARABAN 2016
SIC KAWARABAN 2016
SIC KAWARABAN 2016
SIC KAWARABAN 2016

テーマ主題企業から、作品へコメント

センター内のコミュニケーションツール「SICかわらばん」は創刊から12年。今回の優しい華やかさが感じられるコーポレートフォントは、柔軟さをもたらしてくれと期待しています。(5月号から入居企業版に反映しています。)(SIC広報)



コーディネーターからのコメント

様々な企業が集合するSICの「賑やかで開けた様子」を彩り豊かに表現している点が評価のポイントです。可読性を保ちながら多様な重なり合いを演出するテクニックも秀逸です。「SICかわらばん」のヘッダーにこのデザインが用いられることで掲載される入居企業さんの印象も一段と華々しく感じられると思います。(小崎 直利 デザイナー)

テーマ出題企業：

株式会社さがみはら産業創造センター

さがみはら産業創造センター(略称:SIC)は、起業家の育成や、新しいビジネスを支援しています。相模原市内に3つの施設によるオフィス・ラボの提供と個別の企業支援を行っています。今年度で16年目を迎え、相模原の次なる時代に向けて多くの地域企業を応援しています。

代表者：代表取締役 橋元 雅敏

所在地：〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

<http://www.sic-sagamihara.jp>



和風酒「出島」

橋本駅とSICの中間地点にある歌える居酒屋「出島」にスタッフと行ってきました。今回は豚肉ナス炒め、タコのから揚げ、山菜のてんぷらをつまみにビール。メに納豆チャーハンとオムそば。料理もお店の雰囲気もとても家庭的でおいしい。居合わせたお客さんとカラオケも楽しめました。5人以上で貸切もできます。親しい仲間や同僚とおいしい家庭料理とカラオケをお楽しみください。昼はボリュームたっぷりのランチがお勧めです。

相模原市緑区西橋本2-1-11 電話:042-772-2362

営業時間：月～土 昼12:00～ 夕方17:30～ 定休日 毎週日曜日、祝日



豚キムチ定食

オムそば



山本のめし屋レポート

● Sagami-hara Incubation Center ●

SICアントレ・インターンシップ

ひと足先に社会人!

第13期生募集中!

おかげさまで「SICアントレ・インターンシップ」は、13年目を迎えます。本インターンシップは、毎年8月に開催される「子どもアントレ」の企画運営を大学生が中心になって行うものです。

開催日時 平成28年6月4日(土)～10月中旬

会場 さがみはら産業創造センター他

対象 大学生・大学院生・専門学校生

募集人数 12名(先着順)

受講料 無料(交通費支給)

事前説明会 平成28年5月15日(日)13:30～2時間程度

場所:さがみはら産業創造センター

内容:内容説明、OBOGの感想、質疑応答、その他

お問い合わせ先 さがみはら産業創造センター(担当:事業創造部 上野)



第10期

SIC職場リーダー養成塾

リーダーとは組織で成果を出せる人

第10期 SIC職場リーダー養成塾 塾生募集!

おかげさまでSICリーダー塾は10年目を迎え、139名の塾生が修了しました。平成28年度も塾生の募集を開始します。職場リーダーに求められる「部下やメンバーの特性を知り、潜在的に持つ力を最大限に引き出し、周囲を巻き込み、成果を出す」力を養成します。皆様からのお申し込みをお待ちしています。充実した講義内容にご期待ください!

開催期間 平成28年6月～12月

受講対象 中小・中堅企業の職場のリーダー及びリーダー候補
(相模原市外の企業様も受講可能です)

募集人数 16名(1社3名まで受講可)

会場 さがみはら産業創造センター 他

受講料 118,000円(税別)/名

お問い合わせ先 さがみはら産業創造センター(担当:事業創造部 五島)

2016.5

SIC EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

6月1日(水)～6月12日(日) 子どもアントレ募集期間

6月4日(土)～10月中旬 SICアントレ・インターンシップ

6月4日(土)～12月4日(金)全10回 SIC職場リーダー養成塾

6月18日(土)～平成29年2月11日(土)全11回 SIC経営塾



入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2016年5月13日 現在)

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 スモールオフィスA(23.6㎡)	1	78,700円
SIC-2 空室はありません	-	-
SIC-3 空室はありません	-	-

「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

SIC 経営塾

2016塾生募集

時代に打ち勝つ『経営力』が求められている

おかげさまでSIC経営塾は15年目を迎えます。本塾は、先端的な企業のケーススタディーを通じ、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。



▲講義

【講義】

最先端の経営理論を学びます。

先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。



▲ディスカッション

【討論】

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

課題図書、事例研究を基に、異業種の方々と討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。



▲2015年 塾生・講師

【事業構想の再構築】

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

実証的な研究や討論を通じ、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。

開催期間 平成28年6月～平成29年2月

会場 さがみはら産業創造センター(SIC-2)

募集人員 15名

対象 経営者または経営幹部

受講料 200,000円(税抜き・1泊2日の合宿費用を含む)

※受講料の割引制度があります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先 さがみはら産業創造センター(担当:事業創造部 片山)

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagami-hara.jp>

編集後記

平成28年度が始まりました。SICでは、SIC経営塾(15年目)、SIC職場リーダー養成塾(10年目)、SICアントレ・インターン(13年目)と募集を開始しています。事業を長く続けることができているのは、皆さまからの信頼の賜と感謝しております。本年度も皆様からのお申し込みをお待ちしています。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagami-hara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagami-hara.jp/>